



部局名 産学・地域連携センター 知的財産部門

担当：(長濱秀樹、荒武尚)

テーマ 契約のペーパーレス化：迅速な研究試料授受による研究環境の向上に向けて

特色ある取組

他機関との成果有体物の授受を行う場合には、成果有体物提供契約（Material Transfer Agreement、MTA）を締結する必要がありますが、宮崎大学では、産学・地域連携センターで手続き業務を行っています。成果有体物授受では、研究促進のために迅速なMTA手続きが求められる一方、成果有体物の使用に各種制限等がかけられるため、その契約内容の合意に時間がかかるなど、課題も多いのが現状です。

宮崎大学では、研究成果有体物の適切な管理運用を行うことを目的として、「有体物管理システム(MMCシステム)」<https://mmc-u.jp/> を利用しています。このMMCシステムは、国内外の研究機関等とのMTA契約を効率的に進める事を目的に九州大学が文部科学省の支援を受けて整備した研究試料データベース・管理システムで、現在では全国10大学が利用しており、さらに複数の大学が参画を検討しています。

理研BRCとは包括契約を締結することで、このシステム上にてペーパーレスで有体物の受取り手続きが可能となっており、本学でも2018年度からこの契約を締結し、手続き迅速化の一助となっています。

取組の様子

申請日/受理日	リソース名/利用名/提供先	種別	提供状況	提供種別	物産情報	ステータス	提供先機関	備考
2018/04 2018/04/03			○	○	書籍	完了	理研BRC	
2018/04 2018/04/03			○	○	書籍	完了	理研BRC	
2018/02 2018/02/03			○	○	書籍	完了	理研BRC	
2018/02 2018/02/03			○	○	書籍	完了	理研BRC	

有体物管理システム(MMCシステム)上で理研BRCへのサンプル提供依頼が可能。基本的にペーパーレスで契約が完了できます。

期待できる成果・評価 など

通常、成果有体物の授受には書面による契約書(MTA)の締結が必要になりますが、理研BRCとはペーパーレスで契約可能です。その分、契約業務の省力・効率化ができます。

また、契約手続きにかかる時間の短縮により、研究者の研究試料受取までの時間短縮にもつながり、研究促進にも貢献出来ます。

参考URL

有体物管理センター HP
<https://mmc-u.jp/>

